

観葉植物や多肉植物を使ったサンドアート

作成者：大阪府立花の文化園 竹田 義・氏林 のり子

- 対象者・人数：小学校低学年以上、または親子 10～20名
- 所要時間：60分程度
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント1名
(生徒5名に付き)
- 実施場所：イベント会場、屋内外



■ 資材

- ・容器（低学年と親子はアクリル製、高学年はガラス製）
- ・スプーン
- ・レインボーサンド（12色）
- ・竹串
- ・竹ばし
- ・ハサミ
- ・水さし
- ・紙コップ（砂入れ）
- ・貝がら
- ・ビー玉
- ・持ち帰り用袋



コップ等の容器



ガラスの容器



スプーン、竹串など



レインボーサンド

■ 花材

- ・観葉植物
(パキラ、テーブルヤシ、ドラセナなど)
- ・多肉植物
(カランコエ、セダム・ルブロティンククツム‘虹の玉’、
グラプトペタルム・パラグアイエンセ‘ブロンズ姫’など)



テーブルヤシ



多肉植物

【指導内容と目的】

- ・ サンドアートとは、ハイドロカルチャー（水耕栽培）の一種で、穴の空いてない透明の容器（ガラス製、アクリル製）に色の付いた砂で模様づけをし、その中に植物を植え付けるもの。
- ・ 小さなスプーンで細かい砂をコップに落としていく作業は、指先の感覚や注意力を養い、完成までの持続力が身に付く。
- ・ カラフルな砂（レインボーサンド）を使つての模様づくりは、造形力、想像力と色彩感覚が育まれる。
- ・ 自由に作ることによって、オリジナルの作品ができる。
- ・ 植物を育て管理することにより、心の優しさや充実感が得られる。
- ・ 管理が簡単な上、手軽に食卓・リビング・子供部屋などで飾って楽しめる。

【対象者への配慮】

- ・ 砂の色は自由に好きな色を選ばせて、個性を尊重する。
- ・ 細かい作業なので飽きさせないような時間の配分や、声かけが必要である。
- ・ 低学年の容器は、落として割れたりしないように、アクリル製のものとよい。
- ・ ハサミの扱いには充分注意する。
- ・ 楽しめるように、子どもの自主性を大切にする。
- ・ 完成のスピードを競わないように、目配りが必要である。
- ・ 管理の方法は、出来るだけわかり易く説明をする。
- ・ 帰宅後に親が確認できるように、レジメを用意する。

① 指導計画・スケジュール

主催者または会場と打合わせ

- ・ 搬入：搬入経路、車の乗り入れの有無、事前受け入れ（宅配など）
- ・ 日時：前日準備や授業時間、後片づけの時間を確認。
- ・ 場所：設備（机、イス、ホワイトボード、マイクなど）、床の養生、水場の位置の確認。
- ・ 備品：清掃道具（ほうき、バケツ、ゴミ袋）
- ・ ゴミ処理：ゴミ処理方法の確認（主催者側、講師側）

花育内容の打ち合わせ

- ・ 主催者側の意向を聞く（内容、予算）
- ・ 参加者の募集及び持ち物の有無。
- ・ 会場整備：新聞紙やビニールシート（机の上に敷く）、ゴミ袋の設置。
- ・ 道具：水さし、ハサミ、バケツ、トレー（土を落とす）
- ・ 資材：容器（アクリル製、ガラス製）、竹ばし、持ち帰り袋。
- ・ 花材：観葉植物、多肉植物。
- ・ レジメ：子供たち用レジメ、保護者用栽培管理説明書、記録用メモ用紙。
- ・ 見本の作成：事前に作っておいて展示する。

アシスタントとの打ち合わせ

- ・ 当日の流れや注意事項を打ち合わせる。
- ・ 事前にサンプル作りをして、内容を把握してもらう。

① 当日の流れ

時 間：準備1時間、実作業1時間、片づけ30分

実作業：作業工程の説明（15分）、実技（30分）、管理の説明（15分）

■ 準備

主催者側担当者、講師、アシスタントが集合したところで、今日の進行状況を再確認する。

① 会場設営

机の汚れ対策（新聞紙やビニールシートを敷く）、トレーの設置、備品のチェック

② 材料、備品の搬入。

③ 資材、植物の配布。

容器、レインボーサンド、竹ばし、植物。

④ レジメ、記録用メモ用紙、文具などの配布。

⑤ 講師用の資材、植物の準備（デモ用など）

見本の展示。

■ 始める前に

① 挨拶

自己紹介、アシスタントの紹介。

② 注意事項

ハサミの使い方について、作る時にはスピードを競わない など。

*作業開始

■ 終わりの挨拶、解散

① 時間があれば、子供たちに簡単に後片づけをしてもらう。

床面、机面の清掃を行い、元の位置に戻す。

② 挨拶、解散。

③ 主催者、講師、アシスタントで簡単な反省会ができれば良い。

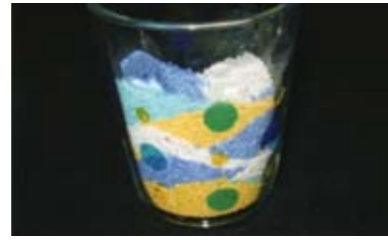


■ 作成手順

① 好きな色砂を3～5色選ぶ。



② 模様を考える(波、直線、など)



③ 容器の面に沿わせてカラフルな砂を入れて模様を作る。



④ 半分ぐらいまで模様ができたら、真ん中に竹ばしをさして水を竹ばしに沿わせながら注ぐ(砂が固まる程度の水)



⑤ 植物の根を洗う(観葉植物)
土を落とす(多肉植物)



⑥ 真ん中に植物を植える。



⑦ 容器のふち2～3cm下に根本がくるように砂を入れて落ち着かせる。



⑧ 続きの模様を作り、容器のふち1cm下の表面を好きな色で仕上げる。



⑨ もう一度砂を固めるために水を入れ、はき出した余分な水はスポイドで吸い取って捨てる。



⑩ 砂の上にオーナメント(貝殻やビー玉)を飾って完成。



アクリル容器



アクリル容器



ガラス容器

■ 管理のポイント

- ・ 直射日光に当てない
- ・ 水やりは2週間に1回ぐらい。(あげすぎないこと)
- ・ 一度、砂が水を吸収した後に出了よぶんな水はきれいに捨てること。(ときどき葉に霧吹きをする)

■ 置き場所

- ・ 部屋の明るい場所がよい。

<作品例>



多肉植物のサンドアート

サンドアートをつくりました

- * 植物を楽しみましょう
- * 色の組み合わせで、どんな模様ができるかな？
- * 部屋の素敵なアクセサリーになるよ
- * 清潔で管理がとっても簡単！
- * 手作りのプレゼントができるよ

用意するもの

アクリルコップまたはガラス容器

レインボーサンド（小粒） 12色

植物（観葉、多肉）

竹ばし、竹串、はさみ、スプーン

オーナメント（貝殻、ビー玉など）

紙コップか透明コップ（砂を入れる）